

## 2011/11/19 第10回基礎体温計測推進研究会定例会報告

2011年11月21日

基礎体温計測推進研究会事務局

11月19日（土）13時半～16時、鎌倉の鎌倉パークホテルで開催した第10回基礎体温計測推進研究会定例会について報告いたします。

今回の懇親会は松本清一会長の95歳のお誕生日のお祝いを兼ねてということで、同じく松本先生が会長を務められている月経研究会連絡協議会と合同で行い、研究会の講演にも月研連の会員の方が参加され、いつもとは違った観点から活発な意見交換もありました。

16時～18時の懇親会には、松本先生のご家族も加わって、みなさん笑顔で、和やかなとてもよい会となりました。



---

### 講演① 恩師・松本清一とは---その人となりと業績、そして、その跡を継ぐ私たちは？

性と健康を考える女性専門家の会・会長 産婦人科医 堀口雅子先生

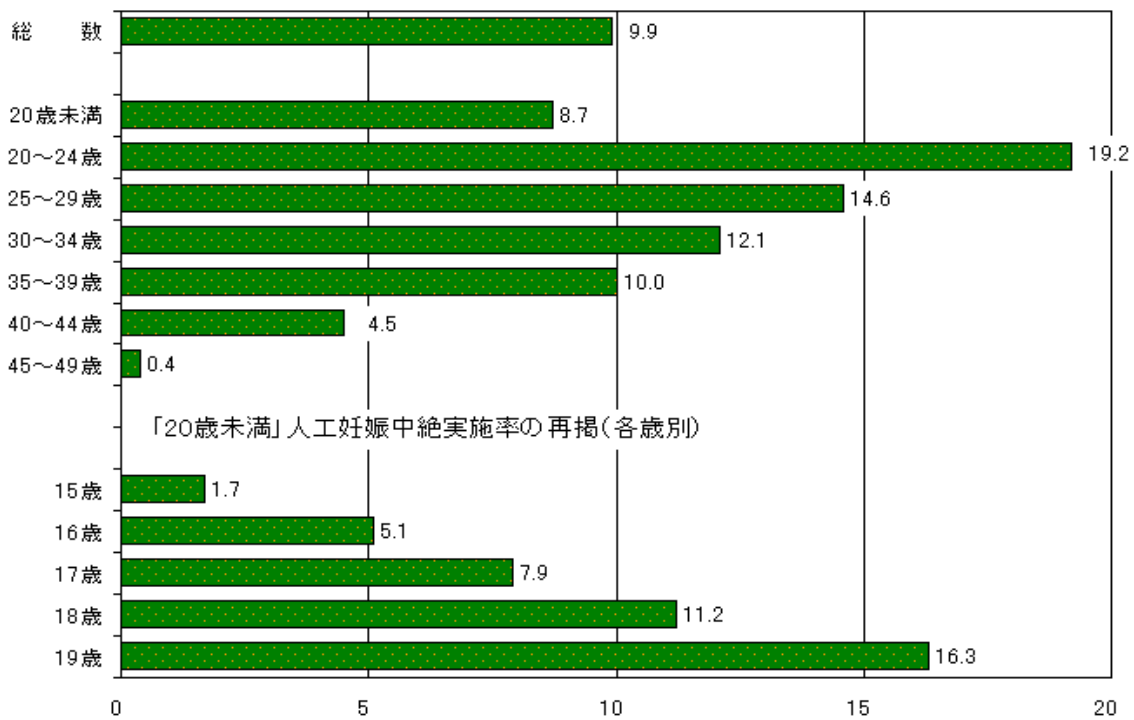


最初のご講演は、性と健康を考える女性専門家の会・会長で産婦人科医（女性成人病クリニック・主婦会館クリニック、ティーンズカフェ、青山・渋谷メディカルクリニック）の堀口雅子先生より、会長松本先生の魅力と、日本思春期学会設立、経口避妊薬・ピルの認可・推進、基礎体温計測推進等に貢献されてきた、先生のこれまでの業績などをお話いただきました。

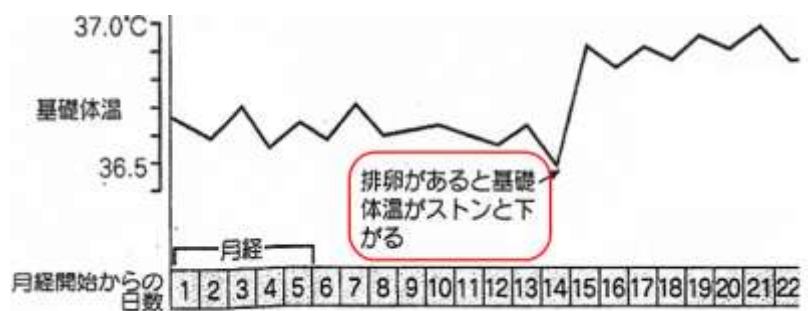
堀口先生は、松本先生のこれらの研究を受けて、今後ご自身が続けて行きたいことを以下のように話しておられました。

- 健康のバロメーターとしての月経を大切に手段である基礎体温測定の普及をすすめたい
- 40歳代にも多い人工妊娠中絶。体からのサインを大切に、もっと気楽に基礎体温を測り、セクシャルライフに活用してほしい

年齢階級別にみた人工妊娠中絶実施率（年齢階級別女子人口千対）平成18年度



- 教科書の誤り、間違いを訂正・広く知らせたい



まちがいの例：

- ◇ 排卵日にストンと体温が下がる
- ◇ 排卵は左右の卵巣から交互に起こる

## 講演① 月経不順・不妊に関わる多嚢胞性卵巣症候群についてー その診断と治療の最新情報ー

東京医科歯科大学大学院生殖機能協関係学教授 久保田 俊郎先生



経膈超音波断層検査所見で、少なくとも一方の卵巣で 2 - 9 mm の小卵胞が 10 個以上存在するという多嚢胞性卵巣症候群 (PCOS) について最新の診断基準をお話しいただき、PCOS の新治療指針のアルゴリズムと治療を進めるための重要な 6 項目について解説いただきました。



### POCOS の臨床上的の問題点

- ① 月経異常
- ② 不妊
- ③ 男性化
- ④ ゴナドトロピン製剤に対する過剰反応
- ⑤ 低い妊娠率・高い流産率
- ⑥ インスリン抵抗性
- ⑦ 子宮内膜増殖症・子宮体癌のリスク

### PCOS の治療指針

- ・ 肥満を伴う PCOS の治療
- ・ インスリン抵抗性改善薬 (メトホルミン)
- ・ Gn 療法での排卵誘発法
- ・ 腹腔鏡下卵巣多孔術
- ・ IVF-ET (体外授精・胚移植) の際の注意点
- ・ 挙児希望のない PCOS の管理法





## 松本清一先生 95 歳の誕生日を祝う会

研究会後の懇親会では、月経研究会連絡協議会、基礎体温計測推進研究会それぞれより 95 歳のお誕生祝いを申しあげ、♪Happy birthday♪を歌いました。先生はなんと一気にろうそくを吹き消し、とてもお元気な様子うかがえました。







相良洋子先生からのお祝いのお花



平均年齢は・・・多分 80 歳ごえ^\_^;



集合写真は、みなさん本当によい笑顔でした